

ルチオ・フルチ

Lucio Fulci

生年月日 1927/06/17

出身地 イタリア／ローマ

没年 1996/03/13

【バイオグラフィ】

■ジャーナリストをしながら映画実験センターに通い、マルセル・レルビエ監督の「ポンペイ最後の日」の助監督を務めた。その後短編やニュース映画を撮りながら、喜劇のシナリオを書き、59年の“*I Ladri*”で監督デビュー。次作であるマカロニ・ウエスタンの快作「真昼の用心棒」で残虐描写の冴えを見せ始める。その後スリラーやマカロニ作品をコンスタンスに撮るが、ヒット作のない日々が続いていた。しかし80年、過激描写満載のホラー「サンゲリア」、「地獄の門」、「ビヨンド」を発表。これまでにない血みどろ描写が世界中で話題となる。以後はホラーの巨匠の一人として名声を確立させた。96年、長く糖尿病に悩まされていたがインシュリン注射を打たずに就寝して死亡。一説には自殺との話もある。

【フィルモグラフィ】

フルチトークス (2021)	出演
フルチ・フォー・フェイク (2019)	出演
肉の蠟人形 (1997)	脚本, 原案
ルチオ・フルチの 地獄の門2 (1992)	監督
ヘルクラッシュ! / 地獄の霊柩車 (1992)	監督, 原作, 脚本
タッチ・オブ・デス / 死の感触 (1990)	監督, 原案, 脚本
ナイトメア・コンサート (1990)	監督, 脚本, 出演
ルチオ・フルチの ゴーストキラー (1990)	監督, 脚本
ルチオ・フルチの 新ゾンゲリア (1990)	監修
ルチオ・フルチの 新デモンズ (1990)	監督, 脚本
ルチオ・フルチの クロック (1989)	監督, 原案
ルチオ・フルチの ホラー・ハウス (1989)	監督
悪魔の教団 / レッド・モンクス (1988)	製作
サンゲリア2 (1988)	監督
怒霊界エニグマ (1987)	監督, 脚本
イノセント・ドール / 虜 (1986)	監督, 脚本
スキャンダル 愛の罠 (1985)	脚本
ルチオ・フルチの マーダロック (1985)	監督, 脚本
S Fコンクエスト / 魔界の制圧 (1983)	監督
未来帝国ローマ (1983)	監督, 脚本
ザ・リッパー (1982)	監督, 原案, 脚本
マンハッタン・ベイビー (1982)	監督, 出演
ビヨンド (1981)	監督, 脚本
墓地裏の家 (1981)	監督, 脚本
地獄の門 (1980)	監督, 脚本

野獣死すべし (1980)	監督, 脚本
ルチオ・フルチの 恐怖! 黒猫 (1980)	監督, 脚本
サンゲリア (1979)	監督
シルバー・サドル 新・復讐の用心棒 (1978)	監督
ルチオ・フルチの ザ・サイキック (1977)	監督, 脚本, 原案
荒野の処刑 (1975)	監督
名犬ホワイト／大雪原の死闘 (1974)	脚本, 監督
白い牙 (1973)	監督
マッキラー (1972)	監督, 原案, 脚本
ザ・エロチシスト (1972)	脚本, 監督
幻想殺人 (1971)	監督, 原案, 脚本
女の秘めごと (1969)	監督, 脚本
つむじ風のキッド (1967)	脚本
奇想天外・泥棒大作戦 (1967)	監督, 脚本
真昼の用心棒 (1966)	監督
ポンペイ最後の日 (1959)	製作補
無常なるかな人生 (1954)	脚本
人間と野獣と美德 (1953)	脚本